

■■メールマガジン「静岡県防災」第16号■■

県内犠牲者1,000人以上、狩野川台風とは！！

●「狩野川台風」の概要

1958年（昭和33年）9月21日にグアム島の東海上に台風22号が発生しました。

その後、発達しながら北上し、中心気圧880ヘクトパスカル、中心付近の最大風速75メートルと、戦後最大級の台風となりました。

26日には、中心気圧940ヘクトパスカル、中心付近の最大風速70メートルと、猛烈な勢力を保ったまま伊豆半島南部付近を通過しました。

この台風の特徴は、15時間の間に合計700ミリ以上、1時間雨量は最大で120ミリの豪雨となったことです。

●「狩野川台風」の被害

県内の被害は、伊豆地域に集中しました。狩野川上流域では多数の土砂崩れや土石流が発生し、また、中流域から下流域ではいたる所で堤防が決壊、氾濫し、田方平野に大洪水をもたらしました。

夜間であったため、人的被害も大きく、狩野川流域だけで一夜にして、死者・行方不明者853人、負傷者735人、被害家屋6,775戸と大災害となりました。

●熊坂小学校（狩野川台風資料館）

当時の修善寺町（現在の伊豆市）熊坂地区は集落の90%以上（79世帯）を失い、熊坂小学校の児童78名と教員2名が亡くなりました。

このことから、熊坂小学校では、毎年9月26日に狩野川台風のことを忘れず、後世に伝えていくために、全校で防災学習を行っています。

また、校舎内には「狩野川台風資料館」があり、校長先生はじめ教員の手により管理が行われ、国土交通省から寄贈を受けた資料なども展示されています。

過去の災害を後世に伝え、風化させない取組が、次世代の防災意識向上につながっています。

【参考リンク】

・国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 狩野川資料館

<https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/river/shiryokan/>

・伊豆市立熊坂小学校 狩野川台風資料館

[http://kses.city.izu.shizuoka.jp/kanogawa\\_taifu/](http://kses.city.izu.shizuoka.jp/kanogawa_taifu/)

【参考文献】「狩野川放水路」 企画・編集・発行 国土交通省 沼津河川国道事務所